

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 佐賀県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 1経営体	1	100%	A	44,000	44,000	令和2年度 目標達成済み
2 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 1経営体	0	0%	D	0	0	令和2年度、3年度、4年度及び5年度目標未達成
<p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年4月11日、畜産担当者（県職員・JA職員）を対象にGAP取り組みの研修と推進について依頼した。</li> <li>令和5年4月25日、第1回GAP担当者会議、R5年度推進計画、活動計画について協議（農業試験研究センター）</li> <li>令和5年10月26日、第2回GAP担当者会議、推進大会、国際水準GAP、状況調査他（佐城農業振興センター）</li> <li>令和6年1月30日、佐賀県GAP推進大会を開催（生産者、JA、市町、GAP指導員等143名参加：ドゥーイング三日月）</li> <li>令和2年度事業の成果目標としていた経営体については、令和2年7月の豪雨により被災され認証取得を断念されており、他の経営体について研修会等への参加によるGAPへの認識と理解及び認証取得の取組を促した。</li> </ul>							
<p>都道府県による評価</p> <p>「II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大」の成果目標は達成できていない。令和2年度に取り組みを始めていた農家が豪雨被災によりGAP認証を断念され、令和3～5年度ともに経営環境の影響もありGAPの取り組み再開が見えない状況である。このため他の農家へ意向調査と研修会による啓発活動を実施し、興味を示された農家へGAP指導員からPRを行っているが、具体的な進展がないところである。目標達成のため今後も引き続き推進をしていく。</p>							
<p>国による評価</p> <p>畜産GAP等認証の取得拡大については目標達成に至らなかったことから、事業実施主体に対して令和6年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p>							

## 留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
  - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
  - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
  - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
  - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
    - A…………達成度100%以上
    - B…………達成度80%以上
    - C…………達成度50%以上
    - D…………達成度50%未満
  - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
  - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
  - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
  - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。  
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
  - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 長崎県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 18経営体	12	67%	C	386,480	386,480	令和2年度に評価終了
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 1経営体	0	0%	D	0	0	令和2年度、3年度、4年度及び5年度目標未達成
<p><b>事業の成果</b></p> <p>令和5年6月2日と令和5年11月16日に開催した「第3期ながさき肉用牛振興計画」ワーキング・グループ会議にて、畜産担当者（県職員）を対象に、畜産GAPの取り組みの推進について依頼し、令和2年度事業において指導を行った農家12戸のうち、特に県北・五島・壱岐地域の肉用牛の経営体に対し、重点的に畜産GAPの認証取得に向けた理解醸成を図った。</p> <p>その結果、一部の農家については畜産GAPの取組の意義に関して理解醸成が図られ、管理点の一部を自己点検し、適合基準を満たすことが確認できたが、労働安全や労務管理の部分で改善が必要であり、改善には時間を要する。このため、引き続き指導を行う必要があることから、認証取得までには至らなかった。</p> <p>なお、中核的な普及指導員が畜産GAP推進研修を受講し、生産現場における課題解決とGAPを推進するスキルを取得してきたことから、指導体制の強化につながっている。</p>							
<p><b>都道府県による評価</b></p> <p>畜産GAPに関する理解の醸成を図ったことで一部の肉用牛の生産者は畜産GAPに興味を示したものの、飼料価格の高止まりや畜産物需給の不安定さ等による先行きの不透明感から経営改善を優先しており、認証取得に積極的ではない農家が多く、また、管理点の自己点検を行った農家についても改善を要する点があったことから、新規の認証取得には至らなかった。今後も、各地域の指導体制の強化と指導員個々のスキルを向上させるとともに、県として積極的に周知活動を行っていくことで新規の認証取得を推進していく。</p>							
<p><b>国による評価</b></p> <p>成果目標のうち、II畜産GAP等認証の取得拡大については目標達成に至らなかったことから、事業実施主体に対して令和6年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p>							

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和5年度）

都道府県名 鹿児島県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産 GAP指導活 動の推進	畜産GAP指導 農業者数 1経営体	1経営体	100%	A	346,380	346,380	
II 日本版畜産 GAP等認証 の取得拡大	畜産GAP認証等 の取得経営体数 1経営体	1経営体	100%	A	227,000	227,000	
<p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>畜産GAP指導活動の推進について、事業年度中に1経営体への畜産GAP指導を行った。</li> <li>畜産GAP等認証の取得拡大について、JGAPの認証取得に関心を示す1経営体と認証取得に係る検討を行った。検討を行った経営体は取得を断念したが、事業年度中に別の1経営体が自己資金にて認証を取得した。また、農業教育機関の1経営体について認証の更新を行った。</li> </ul>							
<p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>畜産GAP指導活動の推進により、1経営体に対してGAPの取組に関する指導を行うとともに、新たに2名の指導員の育成を行い、地域ごとの指導員配置を基本方針とした指導体制が一層向上した。</li> <li>畜産GAP等認証の取得拡大について、当初取組の意向を示し、重点地域でパイロット的役割を担うと位置づけられる1経営体が認証の取得を目指していたが、経営状況のひっ迫により認証取得を断念した。一方、同じ重点地域内で別のパイロット的役割を担うと位置づけられる農場が事業年度中に新規で認証を取得したことにより、成果目標が達成され、より良い生産工程管理を実現する「JGAP畜産」の推進に貢献したと考えられる。</li> </ul>							
<p>国による評価</p> <p>JGAP指導員の育成に関して、2名の指導員の新規育成を行うなどにより、指導員は44名（令和5年度末時点で前年度末より2名増、うち団体認証指導員は1名）となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。成果目標のうちII畜産GAP等認証の取得拡大については、当初計画で認証取得を予定していた経営体は取得に至らなかったものの、同重点地域内の別経営体が認証を取得したことにより成果目標が達成されたことから、畜産GAPの拡大及び推進に寄与したものと思料される。</p>							

## 留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
  - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
  - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
  - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
  - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
    - A…………達成度100%以上
    - B…………達成度80%以上
    - C…………達成度50%以上
    - D…………達成度50%未満
  - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
  - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
  - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
  - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。  
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
  - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和5年度）

都道府県名 宮崎県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産 GAP指導活 動の推進	畜産GAP指導 農業者数 3経営体	3	100%	A	614,077	614,077	
II 日本版畜産 GAP等認証 の取得拡大	畜産GAP認証等 の取得経営体数 2経営体	1	50%	C	605,455	605,455	
<p>事業の成果</p> <p>畜産GAP指導員を養成し、畜産GAP指導体制を強化した。 また、JGAP認証の初審1件、維持・更新各1件をはじめ、認証取得意向のある経営体に対し、推進及び指導を行った。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>認証取得予定2農場の内、1農場は認証取得に至ったものの、内1農場は農場側の準備が間に合わず、年度内に認証を取得することができなかつたため、目標未達となった。 未取得となった農場は、令和6年5月13日に自己資金で審査を受審したため、令和6年度に目標は達成される見込みとなっている。</p>							
<p>国による評価</p> <p>JGAP指導員の育成に関して、4名の指導員及び4名の団体認証指導員（内部監査員）の育成を行うなどにより、指導員は54名（令和5年度末時点で前年度末より8名増、うち団体認証指導員は21名）となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。 成果目標のうち、I日本版畜産GAP指導活動の推進については、3農場に指導活動を行ったことにより成果目標が達成された。また、II日本版畜産GAP等認証の取得拡大については、1農場が新たに認証を取得したものの目標達成には至っていないことから、令和6年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出させる。なお、令和5年度中に認証取得とならなかった1農場については、令和6年5月に認証取得のための審査を受審しているため、令和6年度には認証を取得する見込みである。</p>							

## 留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
  - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
  - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
  - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
  - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
    - A…………達成度100%以上
    - B…………達成度80%以上
    - C…………達成度50%以上
    - D…………達成度50%未満
  - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
  - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
  - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
  - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。  
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
  - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 宮崎県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 5経営体	5	100%	A	755,118	755,118	令和4年度 目標達成済み
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 3経営体	3	100%	A	0	0	令和3年度及び4年度 目標未達成、5年度1 農場が自己資金で認証 を取得し、目標達成
<p>事業の成果</p> <p>令和5年12月から令和6年3月までの間、重点地域内の農林振興局、農業改良普及センターにて、来庁者に日本GAP協会作成のパンフレットを配布し、生産者のGAPに対する認知向上を図った。</p> <p>また、農業大学校にて畜産学科の生徒に対しGAP教育を実施し、GAPにおける自己点検手法を習得させると共に、GAPの審査に関する理解醸成を図った。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>令和5年度は、1農場が自己資金により新たに認証を取得し、IIについて目標を達成した。</p>							
<p>国による評価</p> <p>成果目標のうち、II日本版畜産GAP等認証の取得拡大について、新たに1農場が認証を取得したことにより成果目標が達成された。</p>							

## 留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
  - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
  - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
  - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
  - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
    - A…………達成度100%以上
    - B…………達成度80%以上
    - C…………達成度50%以上
    - D…………達成度50%未満
  - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
  - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
  - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
  - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。  
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
  - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 大分県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 16 経営体	16	100%	A	99,000	99,000	令和3年度 目標達成済み
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 1 経営体	0	0%	D	0	0	令和3年度、4年度及び5年度目標 未達成
<p>事業の成果</p> <p>① 指導者が各農場を回り、パンフレット等を利用して認証取得希望農家の増加に向けた普及活動を実施した。</p> <p>② 指導員、生産者向け研修を実施し、認証取得を推進した。</p> <p>③ 地域のパイロット的役割を担う大分県農業大学校が周辺地域への普及・啓発活動を実施した。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>上記により、日本版畜産GAP指導活動が推進され、日本版畜産GAPの取得を希望する農家が1戸あったものの、取得までは至らなかった。 (令和6年5月に認証取得に向けたキックオフ会議を実施。)</p>							
<p>国による評価</p> <p>成果目標のうち、畜産GAP等認証の取得拡大については目標達成に至らなかったことから、事業実施主体に対して令和6年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営対数：1 経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出させる。 なお、令和6年度中に畜産GAP認証の取得が見込まれる経営体があることから、成果目標は達成される見込みである。</p>							

## 留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
  - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
  - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
  - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
  - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
    - A……達成度100%以上
    - B……達成度80%以上
    - C……達成度50%以上
    - D……達成度50%未満
  - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
  - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
  - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
  - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。  
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
  - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 熊本県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導 農業者数 11 経営体	12	109%	A	2,202,728	2,202,728	令和3年度 目標達成済み
II 畜産GAP等 認証の取得拡大	畜産GAP認証 の取得等経営体数 4 経営体	2	50%	C	170,515	170,515	令和3年度、4年度 及び5年度目標未達成
<p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ II 畜産GAP等認証の取得拡大において、令和5年度の新規認証取得は1件（熊本県農業大学校：R6.3.15認証）であり、県内のJGAP認定農場は合計7農場となった。</li> </ul>							
<p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「II 畜産GAP等認証の取得拡大」については熊本県農業大学校が新規認証取得したため、実績が2件（目標達成度50%）となったものの、令和3年（事業実施年度）において、新型コロナウイルスや全国的な鳥インフルエンザの発生等の影響により、GAP取得を要望していた農場が取得を断念したため依然として目標は未達成となっている。</li> </ul>							
<p>国による評価</p> <p>成果目標のうち、畜産GAP等認証の取得拡大については新規認証取得した農場が1件あったものの、目標達成には至っていないことから、事業実施主体に対して令和6年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：2経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p>							

## 留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
  - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
  - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
  - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
  - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
    - A……………達成度100%以上
    - B……………達成度80%以上
    - C……………達成度50%以上
    - D……………達成度50%未満
  - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
  - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
  - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
  - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。  
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
  - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
  
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 長崎県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 12経営体	15	125%	A	429,000	429,000	令和3年度に目標達成済み
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 1経営体	0	0%	D	0	0	令和3年度、4年度及び5年度目標未達成
<p>事業の成果</p> <p>令和5年6月2日と令和5年11月16日に開催した「第3期ながさき肉用牛振興計画」ワーキング・グループ会議にて、畜産担当者（県職員）を対象に、畜産GAPの取り組みの推進について依頼し、令和3年度事業において指導を行った農家15戸のうち、特に県央・島原・県北・対馬地域の肉用牛の経営体に対し、重点的に畜産GAPの認証取得に向けた理解醸成を図った。</p> <p>その結果、一部の農家については畜産GAPの取組の意義に関して理解醸成が図られ、管理点の一部を自己点検し、適合基準を満たすことが確認できたが、労働安全や労務管理の部分で改善が必要であり、改善には時間を要する。このため、引き続き指導を行う必要があることから、認証取得までには至らなかった。</p> <p>なお、中核的な普及指導員が畜産GAP推進研修を受講し、生産現場における課題解決とGAPを推進するスキルを取得してきたことから、指導体制の強化につながっている。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>畜産GAPに関する理解の醸成を図ったことで一部の肉用牛の生産者は畜産GAPに興味を示したものの、飼料価格の高止まりや畜産物需給の不安定さ等による先行きの不透明感から経営改善を優先しており、認証取得に積極的ではない農家が多く、また、管理点の自己点検を行った農家についても改善を要する点があったことから、新規の認証取得には至らなかった。今後も、各地域の指導体制の強化と指導員個々のスキルを向上させるとともに、県として積極的に周知活動を行っていくことで新規の認証取得を推進していく。</p>							
<p>国による評価</p> <p>成果目標のうち、II畜産GAP等認証の取得拡大については目標達成に至らなかったことから、事業実施主体に対して令和6年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画書を提出させる。</p>							

## 留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
  - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
  - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
  - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
  - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
    - A…………達成度100%以上
    - B…………達成度80%以上
    - C…………達成度50%以上
    - D…………達成度50%未満
  - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
  - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
  - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
  - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。  
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
  - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
  
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

## 留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
  - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
  - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
  - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
  - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
    - A……達成度100%以上
    - B……達成度80%以上
    - C……達成度50%以上
    - D……達成度50%未満
  - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
  - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
  - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
  - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。  
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
  - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。